

事前伺い

[平成22年度設置]

計画の区分：研究科以外の教育研究上の基本となる組織の専攻
の設置

九州大学大学院生物資源環境科学府農業資源経済学専攻

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 九州大学
平成22年5月1日現在

作成担当者

総務部法令審議室法規係

カカリチョウ ニシムラ マサル
係長 西村 大

電話番号 092-642-2108
(夜間) 092-642-2108
F A X 092-642-2113
e-mail syshoki@jimu.kyushu-u.ac.jp

担当部局(課)名 農学部庶務係

職名・氏名 ムラ カミ コウ イチ
村 上 公 一

電話番号 092-642-2802
(夜間) 092-642-2802
F A X 092-642-2804
e-mail:nossyomu@jimu.kyushu-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は事前伺い手続き時の設置計画の概要の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載いただき、
その下欄に()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 〇〇学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科(通信教育課程)」

目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	6
3	既設大学等の状況	13
4	教員組織の状況	15
5	その他全般的事項	17

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人九州大学

(2) 大学名

九州大学

(3) 大学の位置

〒812-8581
福岡県福岡市東区箱崎6丁目10番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成20年度開設の博士後期課程の場合(平成22年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(4) -① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
生物資源環境科学府 農業資源経済学専攻(修士課程) 修士(農学)	年 2	人 13	人 26	基礎となる学部名等 農学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(4) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平均入学定員超過率	備考
		人	人	人		
A 入学定員	()	()	()	()	倍 0.84	
志願者数	()	()	()	()		
受験者数	()	()	()	()		
合格者数	()	()	()	()		
B 入学者数	()	()	()	()		
入学定員超過率 B/A	()	()	()	()	0.84	

- (注) ・ () 内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。
 ・ 「平成22年度」には, 平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成20~21年度」には, 確定した数値を記入してください。

(4) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学年	報告年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	備考
1年次	[]	[]	[]	[2] 11	
2年次	[]	[]	[]	[-] -	
3年次	[]	[]	[]	[-] -	
計	[]	[]	[]	[2] 11	

- (注) ・ [] 内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含まれていない学生については記入しないでください。
 ・ 各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(4) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

生物資源環境科学府農業資源経済学専攻（修士課程）

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する退学者数の割合 (a/b)
平成19年度	計 []	計 []	[] %
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	%
	(主な退学理由)		
平成20年度	計 []	計 []	[] %
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	%
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	(主な退学理由)		
平成21年度	計 []	計 []	[] %
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	%
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
(主な退学理由)			
平成22年度	計 [0] 0人	計 [2] 11人	[0%] 0%
	うち平成19年度入学者 人	平成19年度 人	
	うち平成20年度入学者 人	平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 0人	平成22年度 11人	
(主な退学理由)			

(注)・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(4) 調査対象研究科等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は、平成20年度開設の博士後期課程の場合（平成22年度までの3年間）ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が2年以下の場合には欄を削除し、4年以上の場合には、欄を設けてください。）

(4) -① 調査対象研究科等の名称、定員

調査対象研究科等の名称（学位）	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
生物資源環境科学府 農業資源経済学専攻（博士後期課程） 博士（農学）	年 3	人 5	人 15	基礎となる学部名等 農学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

(4) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平均入学定員超過率	備考
		人	人	人		
A	入学定員	()	()	(-) 5	倍 0.80	
	志願者数	()	()	(1) 5		
	受験者数	()	()	(1) 5		
	合格者数	()	()	(1) 4		
B	入学者数	()	()	(1) 4		
	入学定員超過率 B/A	()	()	(-) 0.80		

- (注) ・ () 内には、社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については、貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入し、平均入学定員超過率も同様の方法としてください。
 ・ 「平成22年度」には、平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成20～21年度」には、確定した数値を記入してください。

(4) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学年	報告年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	備考
1年次	[]	[]	[3] 4		
2年次	[]	[]	[-] -		
3年次	[]	[]	[-] -		
計	[]	[]	[3] 4		

- (注) ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(4) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

生物資源環境科学府農業資源経済学専攻（博士後期課程）

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成19年度	計 []	計 []	[%] %
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	
	(主な退学理由)		
平成20年度	計 []	計 []	[%] %
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	(主な退学理由)		
平成21年度	計 []	計 []	[%] %
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
(主な退学理由)			
平成22年度	計 [0] 0人	計 [3] 4人	[0%] 0%
	うち平成19年度入学者 人	平成19年度 人	
	うち平成20年度入学者 人	平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 0人	平成22年度 4人	
(主な退学理由)			

(注)・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

＜大学院生物資源環境科学府 農業資源経済学専攻 修士課程＞

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手			
コア科目	ミクロ経済学特論	1・2前		2			1						
	政治経済学特論	1・2後		2			1						
	経営学特論	1・2前		2			1						
	経済統計学特論	1・2前		2			1						
	産学連携・知的財産特論・第1	1・2前		2	1							兼1 開講時間数の変更に伴い単位数を変更 (22)	
	産学連携・知的財産特論・第2	1・2前		2	1							兼1 開講時間数の変更に伴い単位数を変更 (22)	
アドバンス科目	農業経営学特論	1・2後1後		2		1						カリキュラム調整による変更(22)	
	農政学特論	1・2後1後		2		1						カリキュラム調整による変更(22)	
	環境生命経済学特論	1・2後1後		2		1						カリキュラム及び担当教員の調整による変更(22)	
	国際農業開発学特論	1・2後2前		2								兼1	
	食料産業システム解析学特論	1・2後1後		2		1						カリキュラム調整による変更(22)	
	食料流通学特論	1・2後1後		2		1						カリキュラム調整による変更(22)	
	ゲーム理論特論	1・2後1後		2		1						カリキュラム調整による変更(22)	
	国際農業資源開発・経営経済学特論	1・2前2前		2		2	3					カリキュラム調整による変更(22)	
	農業関連産業組織学特論	1・2前2前		2		2	1					カリキュラム調整による変更(22)	
習クロ課題目演エフ	1通1後2前		2		5	3					カリキュラム及び担当教員の調整による変更(22)		
究特別目研	農業資源経済学特別研究第一	1通		6		5	3					担当教員の調整による変更(22)	
	農業資源経済学特別研究第二	2通		6		5	3					担当教員の調整による変更(22)	
学府共通教育プログラム(副専攻)	生物生産環境教育プログラム	ライフプラン・エンカレッジ論	1・2通	2								兼4	
		農学国際・国家機関・地方自治体演習	1・2通	2								兼4	
		生物生産環境研究申請演習	1・2通	2								兼4	
		生物生産環境英文スキルアップ演習	1・2通	2								兼4	
		生物生産環境・コミュニケーション演習	1・2通	2								兼4	
	生物産業キャリアパス設計教育プログラム	生物産業創成学特論	1・2通	2			2	2					兼2
		英語コミュニケーション	1・2通	2									兼2
		ヒューマンスキル	1・2通	1									兼2
		コミュニケーションスキル	1・2通	1									兼2
		コンセプトアルスキル	1・2通	1									兼2
		キャリアデザインとライフプラン	1・2通	1									兼1
		キャリアパスディベロップメントとコーピングスキル	1・2通	1									兼2
		生物産業実践論	1・2通	2			1	1					
	生物産業システム実習 I	1・2通	1			1	1						
	生物産業創成基礎	1・2通	4			2	2						
	アジア農学教育プログラム	農学基礎方法論	1・2後1・2後		2								兼1 カリキュラム調整による変更(22)
		生物資源論	1・2後1・2後		2								兼5 カリキュラム調整による変更(22)
		地水環境論	1・2後1・2後		2								兼3 カリキュラム調整による変更(22)
国際農業開発論		1・2後1・2後		2			1					兼2 カリキュラム調整による変更(22)	
農学生命科学		1・2後1・2後		2								兼2 カリキュラム調整による変更(22)	
フードサイエンス・フードシステム論		1・2後1・2後		2		1						兼6 カリキュラム調整による変更(22)	
国際開発特別講義 I		1・2後1・2後		1								兼 カリキュラム調整による変更(22)	
国際開発特別講義 II		1・2後1・2後		1								兼 カリキュラム調整による変更(22)	
国際開発特別講義 III		1・2後1・2後		1								兼 カリキュラム調整による変更(22)	
国際開発特別講義 IV		1・2通		1								兼 プログラムの充実を図る理由により科目を追加 担当 平松 和昭(教授)(22)	
国内外フィールド実習	1・2通		1								兼 プログラムの充実を図る理由により科目を追加 担当 平松 和昭(教授)(22)		
た留	日本農業特論 I	1前		2							兼1		

目 の 字 の 生 科 の	日本農業特論Ⅱ	1後	2							兼1
	アグリリソース調査	2前	1							兼1

- (注) ・事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
 ・設置時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載いただき、設置時より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

(2) 授業科目数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
必 修	選 択	自 由	計	必 修	選 択	自 由	計	
科目 14	科目 30	科目	科目 44	科目 15	科目 32	科目	科目 47	
				[1]	[2]	[]	[3]	

- (注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

＜大学院生物資源環境科学府 農業資源経済学専攻 修士課程 国際開発研究特別コース＞

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
コア科目	修士論文研究Ⅰ	1通	6			4	5	4	3				教員の異動により変更(22) 教員の異動により変更(22) 教員の異動により変更(22) 教員の異動により変更(22) 教員の異動により変更(22)
	修士論文研究Ⅱ	2通	6			4	5	4	3				
	特別演習Ⅰ	1秋	2			4	5	4	3				
	特別演習Ⅱ	1春	2			4	5	4	3				
	特別演習Ⅲ	2秋	2			4	5	4	3				
モジュール科目	農学基礎方法論	1秋		2									兼1 兼5 兼3 兼2 兼2 兼6 兼 兼 兼 兼 <small>兼：プログラムの充実を図る理由により科目を追加 担当：平松 和昭（教授）(22)</small> <small>兼：プログラムの充実を図る理由により科目を追加 担当：平松 和昭（教授）(22)</small>
	生物資源論	1秋		2									
	地水環境論	1秋		2									
	国際農業開発論	1秋		2				1					
	農学生命科学	2秋		2									
	フードサイエンス・フードシステム論	2秋		2		1							
	国際開発特別講義Ⅰ	2秋		1									
	国際開発特別講義Ⅱ	2秋		1									
	国際開発特別講義Ⅲ	2秋		1									
	国際開発特別講義Ⅳ	2秋		1									
国内外フィールド実習	2秋		1										
専門科目	農業生物資源学特論	1春		2									兼16 兼16 兼20 兼13 兼11 教員の異動により変更(22) 兼14 兼11 兼11 兼8
	動物・海洋生物資源学特論	1春		2									
	森林資源科学特論	1春		2									
	生産環境科学特論	1春		2									
	農業環境科学特論	1春		2									
	農業資源経済学特論	1春		2		4	5	4	3				
	生物機能分子化学特論	1春		2									
	システム生物学特論	1春		2									
	分子微生物学・バイオマス資源科学特論	1春		2									
	食料化学工学特論	1春		2									

- (注) ・事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
 ・設置時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載いただき、設置時より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
5	19		24	5	21		26	
				[0]	[2]	[]	[2]	

- (注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。
なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<大学院生物資源環境科学府 農業資源経済学専攻 博士後期課程>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手			
専攻科目	農業資源経済学特別実習	1・2通		2		4	5	4	3			教員の異動により変更(22)	
	ティーチング演習	1・2通		2		4	5	4	3		2	教員の異動により変更(22)	
	国際演習技法	1・2通		2		4	5	4	3		2	教員の異動により変更(22)	
	インターンシップ	1・2通		2		4	5	4	3		2	教員の異動により変更(22)	
	プロジェクト演習	1・2通		2		4	5	4	3		2	教員の異動により変更(22)	
	農業資源経済学特別講究	1～3通		5		4	5	4	3			教員の異動により変更(22)	
	農業資源経済学特別演習	1～3通		5		4	5	4	3			教員の異動により変更(22)	
学府共通教育プログラム(副専攻)	生物生産環境教育プログラム	ライフプラン・エンカレッジ論	1～3通	2								兼4	
		農学国際・国家機関・地方自治体演習	1～3通	2								兼4	
		生物生産環境研究申請演習	1～3通	2								兼4	
		生物生産環境英文スキルアップ演習	1～3通	2								兼4	
		生物生産環境・コミュニケーション演習	1～3通	2								兼4	
	生物産業キャリアパス設計教育プログラム	生物産業創成学特論	1～3通	2			2	2					兼2
		英語コミュニケーション	1～3通	2									兼2
		ヒューマンスキル	1～3通	1									兼2
		コミュニケーションスキル	1・2通	1									兼2 <small>兼2 プログラムの充実を図る理由により科目を追加 担当 新石 博之(教授)(22)</small>
		コンセプトアルスキル	1～3通	1									兼2
		キャリアデザインとライフプラン	1～3通	1									兼1
		キャリアパスディベロップメントとコーピングスキル	1～3通	1									兼2
		異分野・異業種交流実践論	1～3通	2			1	1					
	生物産業システム実習Ⅱ	1～3通	1			1	1						
	生物産業創成基礎	1～3通	4			2	2						
	アジア農学教育プログラム	農学基礎方法論	1・2・3通		2			1					兼1 カリキュラム調整による変更(22)
		生物資源論	1・2・3通		2								兼5 カリキュラム調整による変更(22)
		地水環境論	1・2・3通		2								兼3 カリキュラム調整による変更(22)
国際農業開発論		1・2・3通		2			1					兼2 カリキュラム調整による変更(22)	
農学生命科学		1・2・3通		2								兼2 カリキュラム調整による変更(22)	
フードサイエンス・フードシステム論		1・2・3通		2		1						兼6 カリキュラム調整による変更(22)	
国際開発特別講義Ⅰ		1・2・3通		1								兼 カリキュラム調整による変更(22)	
国際開発特別講義Ⅱ		1・2・3通		1								兼 カリキュラム調整による変更(22)	
国際開発特別講義Ⅲ		1・2・3通		1								兼 カリキュラム調整による変更(22)	
国際開発特別講義Ⅳ		1～3通		1								兼 プログラムの充実を図る理由により科目を追加 担当 平松 和昭(教授)(22)	
国内外フィールド実習	1～3通		1								兼 プログラムの充実を図る理由により科目を追加 担当 平松 和昭(教授)(22)		
た留め学生の科	日本農業特論Ⅰ	1前		2								兼1	
	日本農業特論Ⅱ	1後		2								兼1	
	アグリリソース調査	2前		1								兼1	

- (注) ・事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
 ・設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載いただき、設置時より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 14	科目 19	科目 33	科目 36	科目 15	科目 21	科目 []	科目 [3]	
				[1]	[2]	[]	[3]	

- (注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	農業資源経済学特別実習	1～2年1～3通	2	2		4	5	4	3			カリキュラムの調整及び教員の異動により変更(22)
	ティーチング演習	1～2年1～3通		2		4	5	4	3		2	カリキュラムの調整及び教員の異動により変更(22)
	国際演示技法	1～2年1～3通		2		4	5	4	3		2	カリキュラムの調整及び教員の異動により変更(22)
	インターンシップ	1～2年1～3通		2		4	5	4	3		2	カリキュラムの調整及び教員の異動により変更(22)
	プロジェクト演習	1～2年1～3通		2		4	5	4	3		2	カリキュラムの調整及び教員の異動により変更(22)
	農業資源経済学特別講究	1～2年1～3通		5		4	5	4	3			カリキュラムの調整及び教員の異動により変更(22)
	農業資源経済学特別演習	1～2年1～3通		5		4	5	4	3		2	カリキュラムの調整及び教員の異動により変更(22)

- (注) ・事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
 ・設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載いただき、設置時より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
	7		7	1	6		7	
				[1]	[Δ1]	[]	[0]	

- (注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。
なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 既設大学等の状況

大学の名称	九州大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定員	収 容 定 員	学位又 は称号	定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
文学部 人文学科	4	160		640	学士(文学) 学士(学術)	1.03	平成12年度	福岡県福岡市東区 箱崎6丁目19番1号	
教育学部	4	50		200	学士(教育学) 学士(学術)	1.08	昭和24年度	福岡県福岡市東区 箱崎6丁目19番1号	
法学部	4	200		800	学士(法学) 学士(学術)	1.02	昭和24年度	福岡県福岡市東区 箱崎6丁目19番1号	
経済学部 経済・経営学科	4	150	3年次 10	620	学士(経済学) 学士(学術)	1.06	平成12年度	福岡県福岡市東区 東区箱崎6丁目 19番1号	
経済工学科	4	90	3年次 10	380		1.10	昭和52年度		
理学部 物理学科	4	59		236	学士(理学)	1.11	昭和24年度	福岡県福岡市 東区箱崎6丁目	
化学科	4	67		268	学士(学術)	1.05	〃	10番1号	
地球惑星科学科	4	48		192		1.04	平成2年度		
数学科	4	54	3年次 5	226		1.07	昭和24年度		
生物学科	4	49		196		1.11	〃		
医学部 医学科	6	110		615	学士(医学) 学士(生命科学)	1.01	昭和24年度	福岡県福岡市 東区馬出3丁目	
生命科学科	4	12		36	学士(看護学)	1.22	平成19年度	1番1号	
保健学科	4	137		548	学士(保健学) 学士(学術)	1.05	平成14年度 (平成15年4 月学生受入)		
歯学部 歯学科	6	55	3年次 5	350	学士(歯学)	1.04	昭和42年度	福岡県福岡市 東区馬出3丁目 1番1号	
薬学部 創薬科学科	4	50		200	学士(創薬科学)	1.08	平成18年度	福岡県福岡市 東区馬出3丁目	
臨床薬学科	6	30		150	学士(薬学) 学士(学術)	1.05	〃	1番1号	
工学部 建築学科	4	60		240	学士(工学)	1.06	昭和29年度	福岡県福岡市 西区元岡	
電気情報工学科	4	158		632	学士(学術)	1.06	平成8年度	744番地	
物質科学工学科	4	168		672		1.08	平成9年度		
地球環境工学科	4	150		600		1.03	平成10年度		

エネルギー科学科	4	99		396		1.05	〃		
機械航空工学科	4	169		676		1.07	平成11年度		
芸術工学部							平成15年度	福岡県福岡市	
環境設計学科	4	38		152	学士(芸術工学)	1.07		南区塩原4丁目	H16.4
工業設計学科	4	48		192)	1.04		9番1号	学生受入
画像設計学科	4	38		152	学士(学術)	1.05			
音響設計学科	4	38		152		1.07			
芸術情報設計学科	4	40		160		1.04			
農学部					学士(農学)		平成10年度	福岡県福岡市東区	
生物資源環境学科	4	229		916	学士(学術)	1.05		箱崎6丁目10番1号	

(注) 1 本調査の対象となっている大学等の設置者が、すでに設置している大学の学部、学部の学科について状況を記入してください。

(大学院に係るものについては、記入する必要はありません。)

- 2 事前伺い手続き書類の「設置計画の概要」に準じて作成してください。
- 3 「定員超過率」欄には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科の記載は不要です。
- 4 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、備考欄に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

4 教員組織の状況

<生物資源環境科学府 農業資源経済学専攻（修士課程）>

専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
8	1	9		8	1	9		
(8)	(1)	(9)	()	[0]	[0]	[0]	[]	

(注) ・ 「設置時の計画」欄には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成22年5月1日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
 (記入例：1名減の場合：△1)

4 教員組織の状況

<生物資源環境科学府 農業資源経済学専攻（博士後期課程）>

専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
8	2	10		8	2	10		
(8)	(2)	(10)	()	[0]	[0]	[0]	[]	

(注) ・ 「設置時の計画」欄には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成22年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
(記入例：1名減の場合：△1)

5 その他全般的事項

<生物資源環境科学府 農業資源経済学専攻>

情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表予定時期 (平成 年 月 日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.kyushu-u.ac.jp/university/office/somu-bun/hourei/establish.htm>)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。
なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp
件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。